

# 機構が行う「学士」の学位授与

大学改革支援・学位授与機構 研究開発部教授  
坂口 菊恵

# 機構の概要 — 大学改革支援・学位授与機構

文部科学省所管の独立行政法人。

大学以外で唯一、学位を授与する権限を与えられた機関であるとともに、大学等の教育研究の質の向上を支援する機関でもあります。

本資料の中心

## 学位授与事業

大学以外の唯一の機関として学位を授与

## 評価事業

認証評価・国立大学法人評価の実施

## 施設費貸付 ・交付事業

国立大学法人等への資金の貸付・交付

## 質保証・国際連携

国内外の質保証機関等との連携と情報発信

## 調査研究

事業の基盤となる調査研究

## 助成事業

大学や高専の理系分野への転換を支援

## 学位授与事業 多様な学びを学位へ

高等専門学校・短期大学の卒業生等で、大学等においてさらに学修し単位を積み上げた者に対して審査を行い、**学士**の学位を授与。

累計授与数は令和7年度までに7万人を突破。

## 国際連携 資格の国際的な通用性

ユネスコ「東京規約」にもとづき

**NIC-Japan**（高等教育資格承認情報センター／2019年設置）を運営。

**日本の教育資格枠組み（JEQF）**を開発。

## 学位授与について

- ▶ **機構の概要** [niad.ac.jp/about/outline.html](http://niad.ac.jp/about/outline.html)
- ▶ **学士の学位を取得するまで** [niad.ac.jp/n\\_gakui/tsumiage/get\\_degree/](http://niad.ac.jp/n_gakui/tsumiage/get_degree/)

## 国際連携

- ▶ **NIC-Japan（高等教育資格承認情報センター）** [nicjp.niad.ac.jp](http://nicjp.niad.ac.jp)
- ▶ **教育資格枠組み（JEQF）** [nicjp.niad.ac.jp/japanese-system/jeqf.html](http://nicjp.niad.ac.jp/japanese-system/jeqf.html)

# 機構の沿革

## 大学評価・ 学位授与機構

NIAD-UE

平成3年 学位授与機構 設立  
平成12年 大学評価・学位授与機構に改組

## 国立大学 財務・経営センター

CUFM

平成4年 国立学校財務センター 設立  
平成16年 国立大学財務・経営センター

▼ 平成28年4月 統合

## 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構

NIAD-QE

### 主な沿革

平3.7 学位授与機構 創設。大学（短期大学を除く）以外で学位を授与できる  
1991.7 国内唯一の機関として発足

平12 大学評価業務を開始。「大学評価・学位授与機構」に改組  
2000

平17.7 高等専門学校向けの認証評価機関として正式認証  
2005.7

平28.4 統合により現在の大学改革支援・学位授与機構として発足  
2016.4

令元.9 高等教育資格承認情報センター（NIC-Japan）を設置  
2019.9

令6.3 学位取得者総数が10万人を超えた  
2024.3

# 機構が行う学位授与 — 2つの類型

大学改革支援・学位授与機構（NIAD-QE）は、**日本において大学以外で唯一、学位授与権を与えられた機関**です。

## 学校教育法第104条第7項

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構は、文部科学大臣の定めるところにより、次の各号に掲げる者に対し、当該各号に定める学位を授与するものとする。

### 単位積み上げ型の学士の学位授与

一 短期大学（専門職大学の前期課程含む）若しくは高等専門学校を卒業した者（専門職大学の前期課程にあっては、修了した者）又はこれに準ずる者で、**大学における一定の単位の修得又はこれに相当するもの**として文部科学大臣の定める学習を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認める者 **学士**

学校教育法 第104条第7項第1号 → 学位規則 第6条第1項

### 省庁大学校の課程修了者への学位授与

二 **学校以外の教育施設**で、学校教育に類する教育を行うもののうち当該教育を行うにつき他の法律に特別の規定があるものに置かれる課程で、大学又は大学院に相当する教育を行うと認めるものを修了した者 **学士、修士又は博士**

学校教育法 第104条第7項第2号 → 学位規則 第6条第2項

累計授与数 **109,384人**（学士105,113／修士3,444／博士827、1991～2025年度）。

# 単位積み上げ型の学士の学位授与と「認定専攻科」

## 学位規則 第6条第1項

**学士**の学位の授与は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の定めるところにより、短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は次の各号の一に該当する者で、大学における一定の単位の修得又は短期大学若しくは高等専門学校に置かれる専攻科のうち**機構が定める要件を満たすもの**における一定の学修を行い、**かつ**、機構が行う**審査**に合格した者に対し行うものとする。

**「専攻科」のうち機構が定める要件を満たすもの = 認定専攻科**

## 認定専攻科の認定要件

### 教育課程

大学教育に相当する水準を有すること

### 授業科目

学科（本科）とは別個に設置。  
原則として設置基準の**基幹教員**が担当

### 教員資格

大学設置基準に定める**教授・准教授・講師・助教**の資格に相当

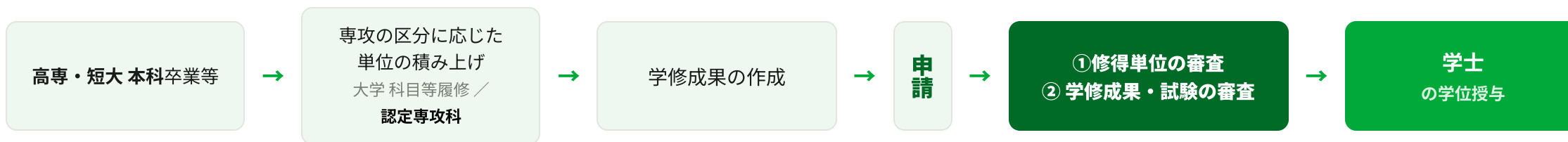
### 教員組織・施設設備

学生数等に応じ十分に整備されていること

**レビュー**：認定後は一定期間ごとに教育の実施状況を審査し、水準の維持を確認します。

**学士の学位の授与に係る特例**：認定専攻科のうち機構が定める要件を満たす「**特例適用専攻科**」の在学者は、専攻科最終学年の「**学修総まとめ科目**」の学修成果に基づき学士の学位授与を申請できます。

# 単位積み上げ型の学士の学位授与 — 審査の2本柱



## ① 修得単位の審査

学修の体系性を担保

- 大学の学部（4年以上の学修、124単位以上の修得）相当の学修であるか
- 61の専攻の区分ごとに定められた「修得単位の審査の基準」を満たしているか

## ② 学修成果・試験の審査

学修の到達度を担保

- **学修成果** = レポート（A4で10～17頁）  
または演奏・創作・作品（芸術系）
- **試験** = 小論文試験（筆記90分）または面接試験（15分）

学修成果と試験の結果にもとづき、大学卒業者と同等以上の学力が身につけているか

両方が「可」で合格。



学位授与 申請案内

「新しい学士への途」 — 申請資料・様式のご案内

[niad.ac.jp/n\\_gakui/application/shinseishiryou.html](http://niad.ac.jp/n_gakui/application/shinseishiryou.html)

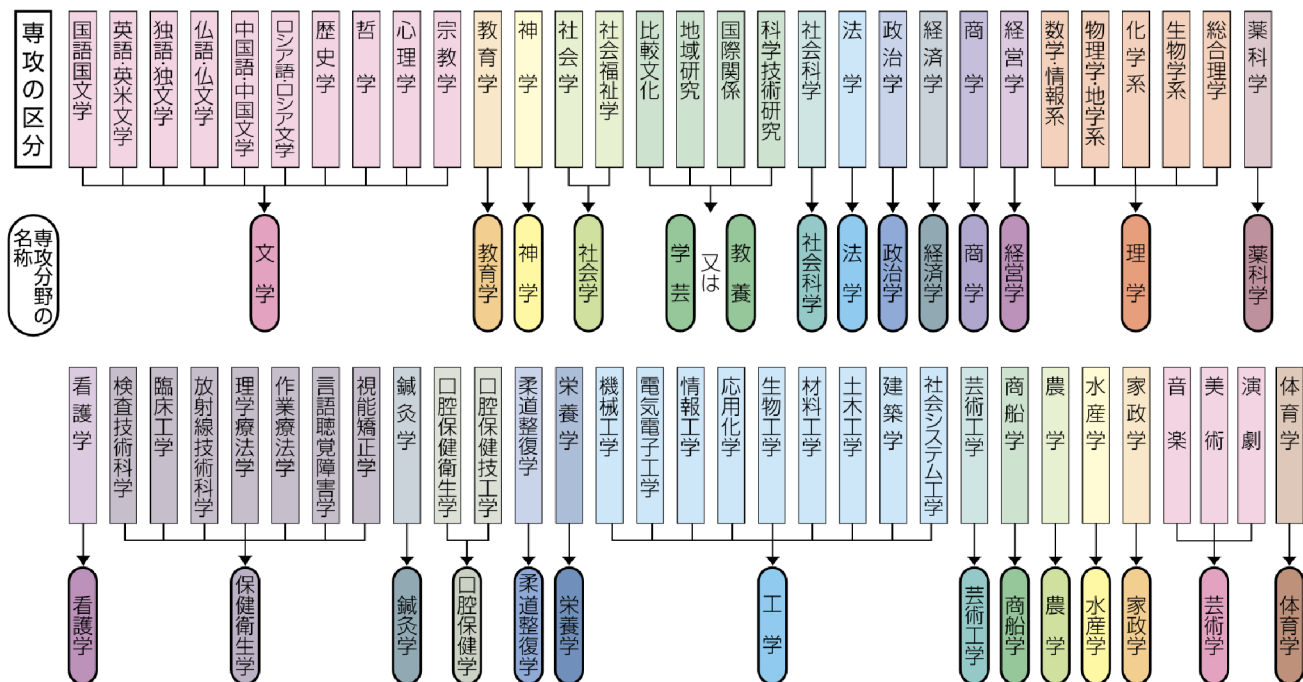


# 61の専攻の区分と「修得単位の審査の基準」



## 28の専攻分野にわたる学士

61の「専攻の区分（申請する際に選択する専門分野）」に応じた“28分野の学士”があります。合格者には、「学士（専攻分野の名称）」が授与されます。



61

専攻の区分

28

専攻分野

### 各専攻の区分ごとに審査の基準を設定

図の各列が61の専攻の区分です。

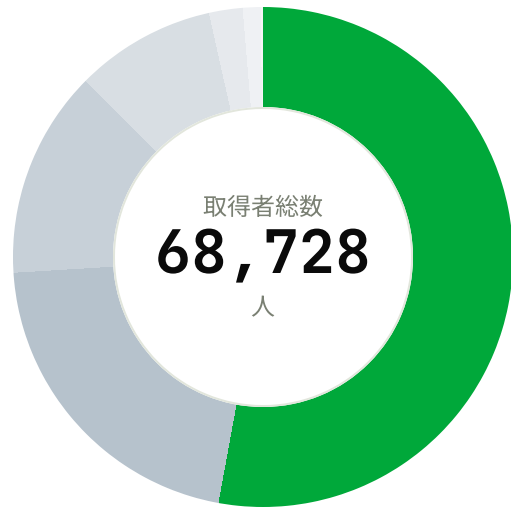
各専攻の区分ごとに修得単位の審査の基準が設けられています。

修得単位の審査の基準は、申請案内「新しい学士への途」に記載されています。

前スライドの①修得単位の審査は、この基準に照らして行います。

# 学士の学位取得者の内訳

基礎資格別の学位取得者数（累計・令和6年度まで）



■ 高等専門学校 卒業	36,345	52.9%
■ 2年制 短期大学 卒業	14,531	21.1%
■ 3年制 短期大学 卒業	9,206	13.4%
■ 3年制 専門学校 修了	6,246	9.1%
■ 大学 中退・卒業 ほか	2,400	3.5%

令和7年度 学位授与総数

**3,568** 人

単位積み上げ型 2,440 / 省庁大学校（修士・博士含む） 1,128

過半数（52.9%）が高専卒業者。

さらにそのうち36,283人（99.8%）が高専専攻科の修了者です。

# 日本の教育資格枠組み（抄） （JEQF：Japanese Educational Qualifications Framework）

日本語

レベル	教育資格
6	学士 — 機構が認定専攻科の単位に基づき授与するものを含む（高専・短大）
5	短期大学士 / 準学士（称号：高専の卒業時に付与） / 専門士
4	高等学校等の専攻科1年制修了証書 / 専修学校専門課程1年制
3	高等学校卒業証書 / 高等専門学校3年次修了証書

当資格枠組みは、国内外での日本の教育資格の透明性・社会的理解を高め、進学・就職を希望する資格保有者の不利益を回避することを目的としています。機構が開発し、**2025年に中央教育審議会の審議を経て文部科学省が認めています。**

資格枠組みの詳細（NIAD-QE）：[www.nicjp.niad.ac.jp/en/japanese-system/jeqf.html](http://www.nicjp.niad.ac.jp/en/japanese-system/jeqf.html)

English

LEVEL	EDUCATIONAL QUALIFICATIONS
6	<b>Bachelor's [Gakushi]</b> — incl. NIAD-QE awards from credits at recognized advanced courses (KOSEN, Junior College)
5	Associate degree / <b>Associate [Jun-gakushi]</b> (on KOSEN graduation) / Diploma
4	One-year advanced course [senkoka] / 1-yr specialized training
3	Upper secondary graduation / <b>KOSEN 3rd-grade completion</b>

同じレベルの資格は互いに「**同質 (homogeneous)**」ではなく「**同等 (equivalent)**」 / 「**比較可能 (comparable)**」と位置づけ。課程修了要件・入学資格要件の**法令根拠**に基づき設計。

ご清聴  
ありがとうございました



▶ 説明動画 / YOUTUBE

単位積み上げ型の  
学士の学位授与制度

[youtube.com/watch?v=djvnlg3Y8yU](https://youtube.com/watch?v=djvnlg3Y8yU)